

Java の実行について

1. PC の電源を入れる

PC の電源スイッチを押して、電源を入れる。
しばらくすると Windows8 が起動する

2. ログインする

ユーザー名：学籍番号

パスワード：誕生日 4 桁

例) 学籍番号が 1234567、誕生日が 3 月 14 日の場合

ユーザー名：1234567

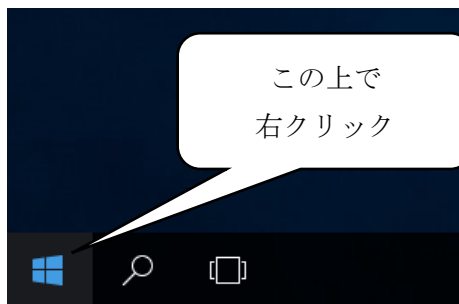
パスワード：0314

3. JcPad（ジェイシーパッド）を起動する

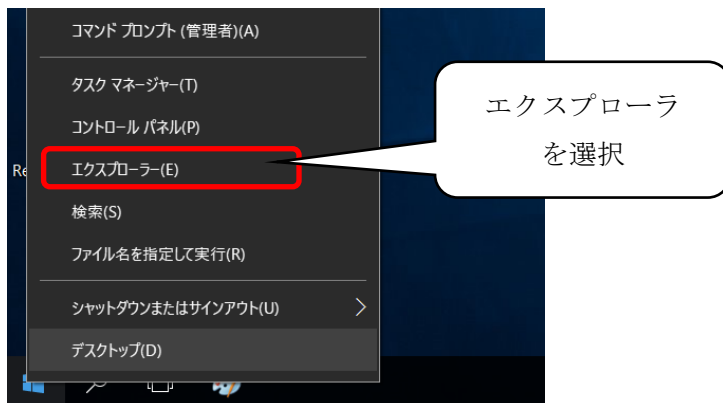
●ファイルエクスプローラを起動→JcPad を起動
の手順で行います。

3-1. ファイルエクスプローラの起動

①左下のウインドウズマーク（）の上で右クリックをします。



②表示されたメニューから「エクスプローラ」を選択します



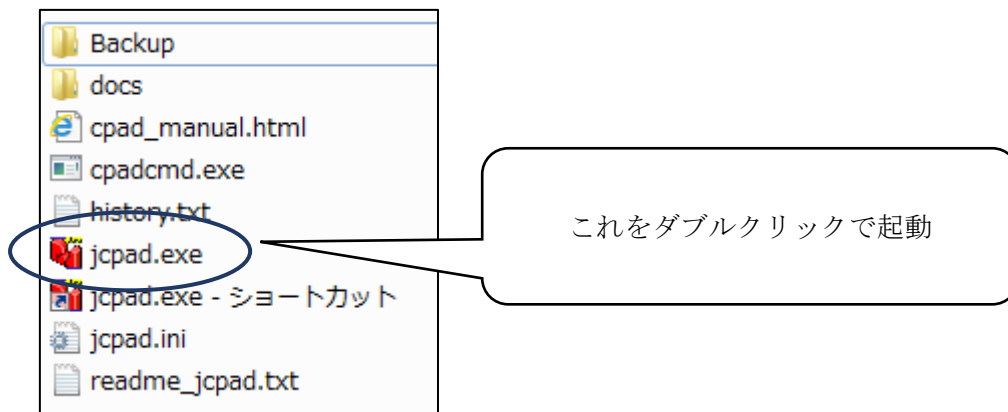
もしくは キーボードの「ウインドウズキー+E」でもエクスプローラーが起動します。

3-2. JcPad の起動

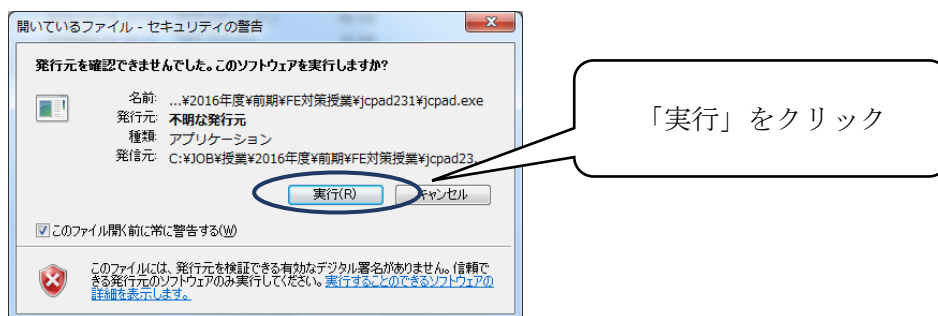
エクスプローラーが起動したら、次に JcPad を起動しましょう。

JcPad は、↓の場所にあります。

C:\Program Files\jcpad231

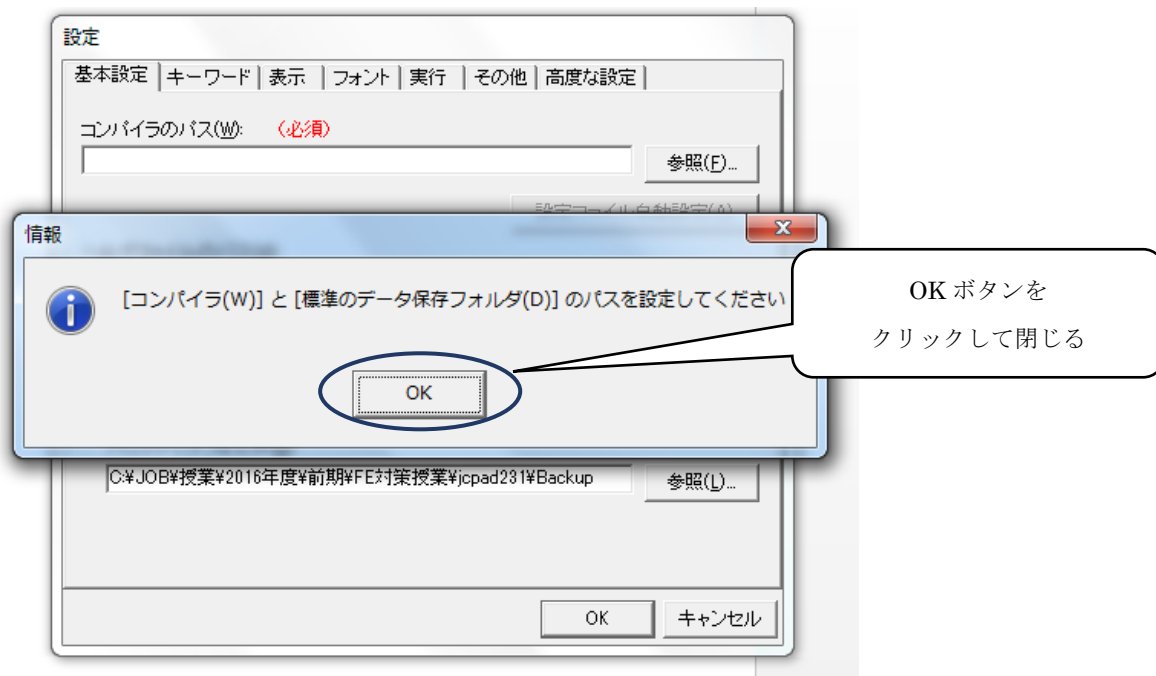


3-1. 起動時に警告が表示された場合は無視して OK



4. コンパイラのパスを設定

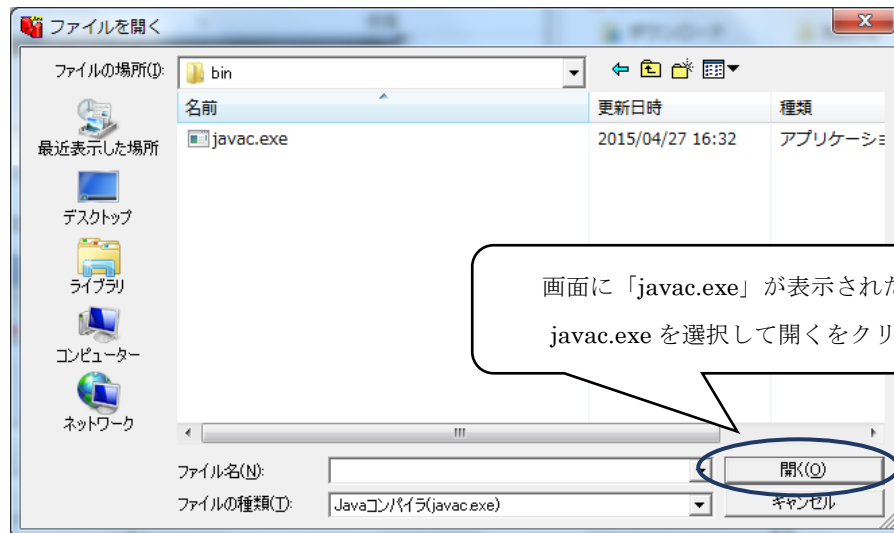
「情報」の画面は OK ボタンで閉じてしまって構いません。



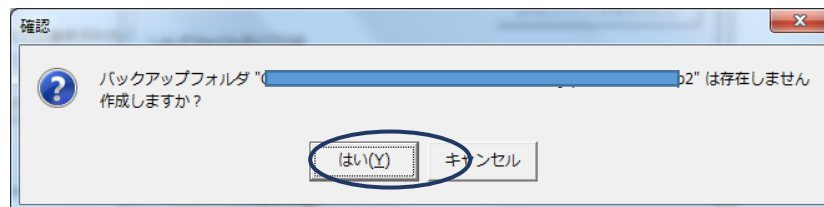
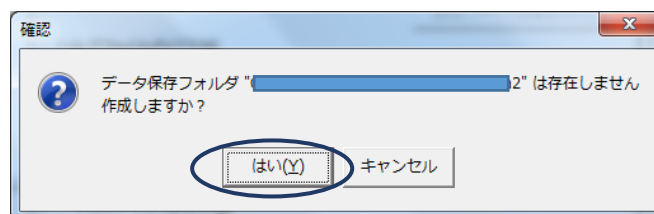
「設定」の画面にコンパイラのパス（コンパイラの場所）を設定する
設定の手順は以下の通り

手順	説明
1	
2	表示された「ファイルを開く」画面で、

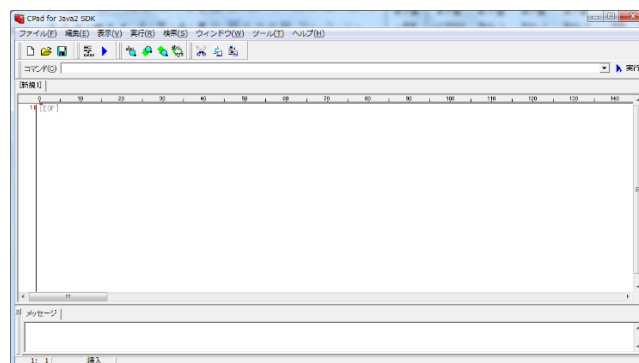
左側の「コンピュータ」→ローカルディスク (C:) →Program Files→Java→jdk1.8.0_45→
bin の順に開き、↓の画面と同じになったら javac.exe を選択して「開く」をクリック



3 ↓の画面が表示された場合は「はい(Y)」をクリック



4 ↓の画面が出れば無事に設定完了

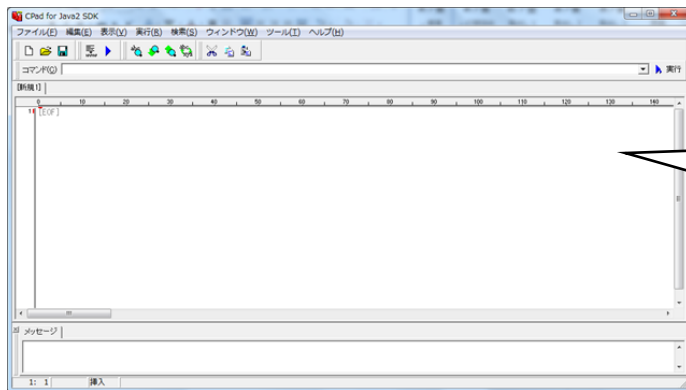


5. 「こんにちは」と表示するプログラムを動かしてみよう！

●プログラムの入力→ファイルの保存→プログラムの実行
という流れでプログラムを動かします！

5-1. プログラムを入力しよう！

起動した JcPad のエディタ部分にプログラム（ソースコード）を入力します。

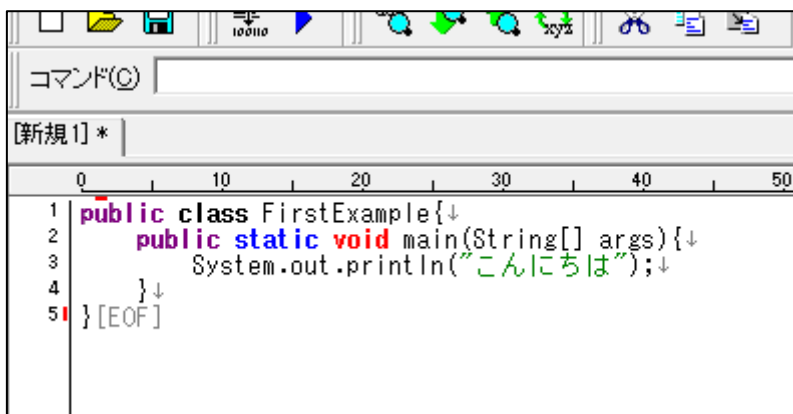


この部分にプログラム（ソースコード）を入力する

入力するプログラムは↓です。

```
public class FirstExample{  
    public static void main(String[] args){  
        System.out.println("こんにちは");  
    }  
}
```

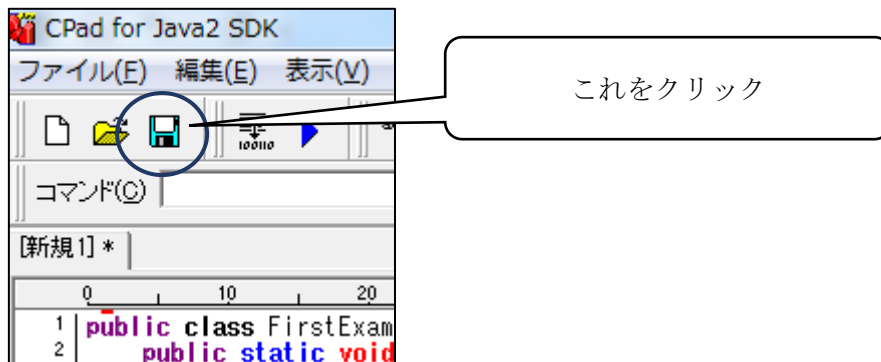
入力するとこんな感じになるはずです。



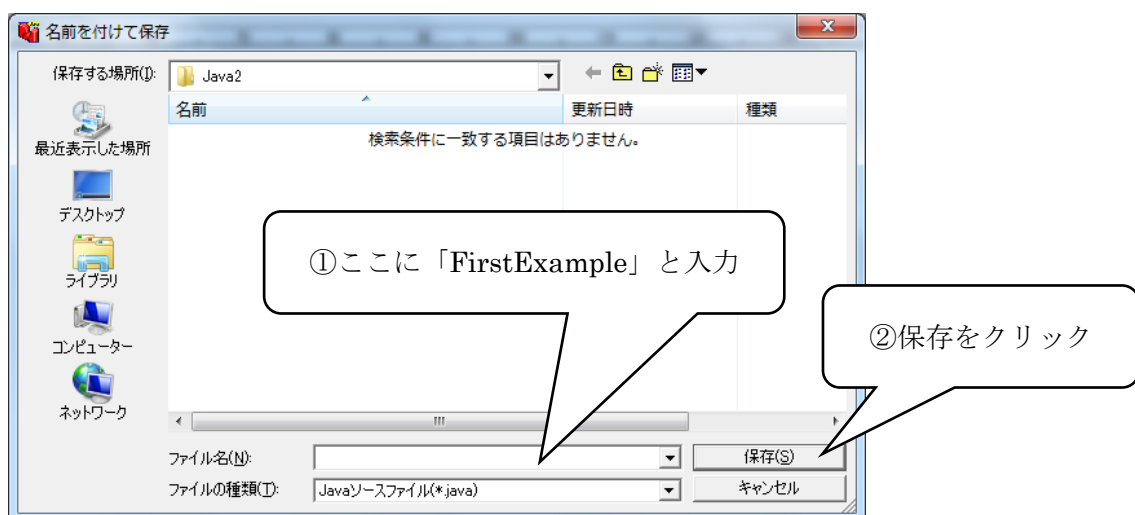
これでプログラムの入力は完了です！

5-2. ファイルを保存する

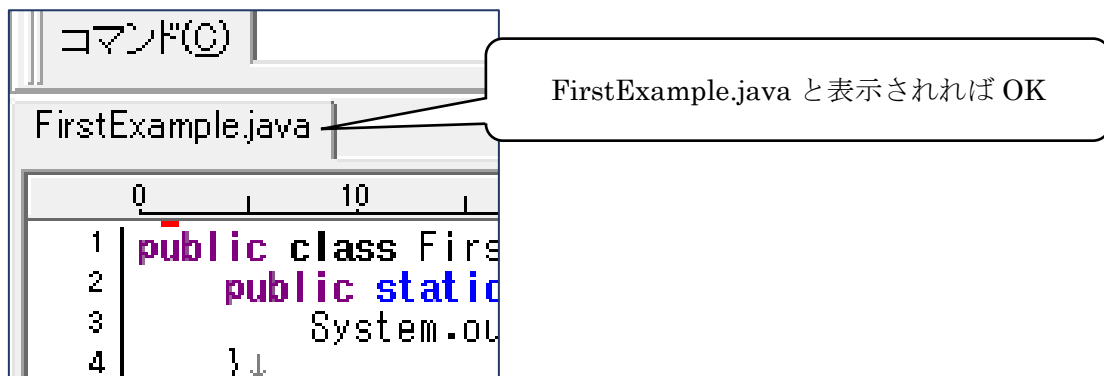
出来上がったファイルを保存します。
画面上部の保存のアイコンをクリックします。



「名前を付けて保存」画面が表示されたらファイル名に
「FirstExample」と入力して「保存」をクリック



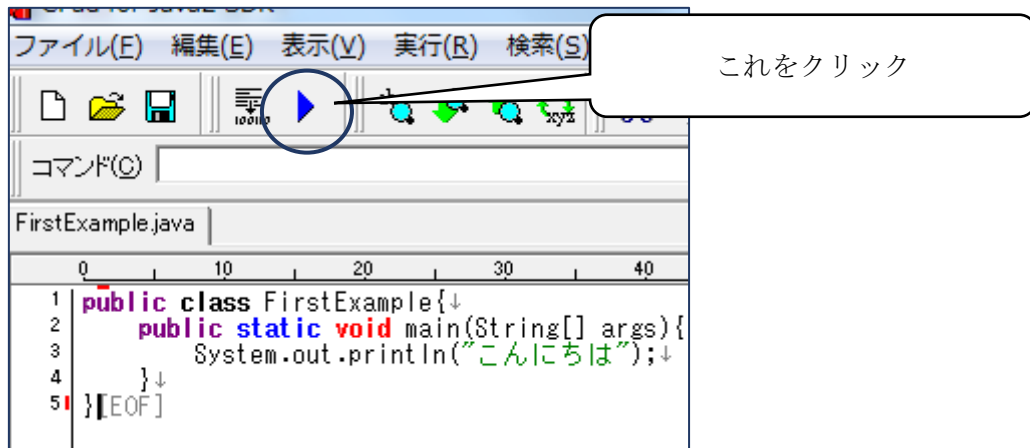
タブに「FirstExample.java」と表示されれば保存完了！



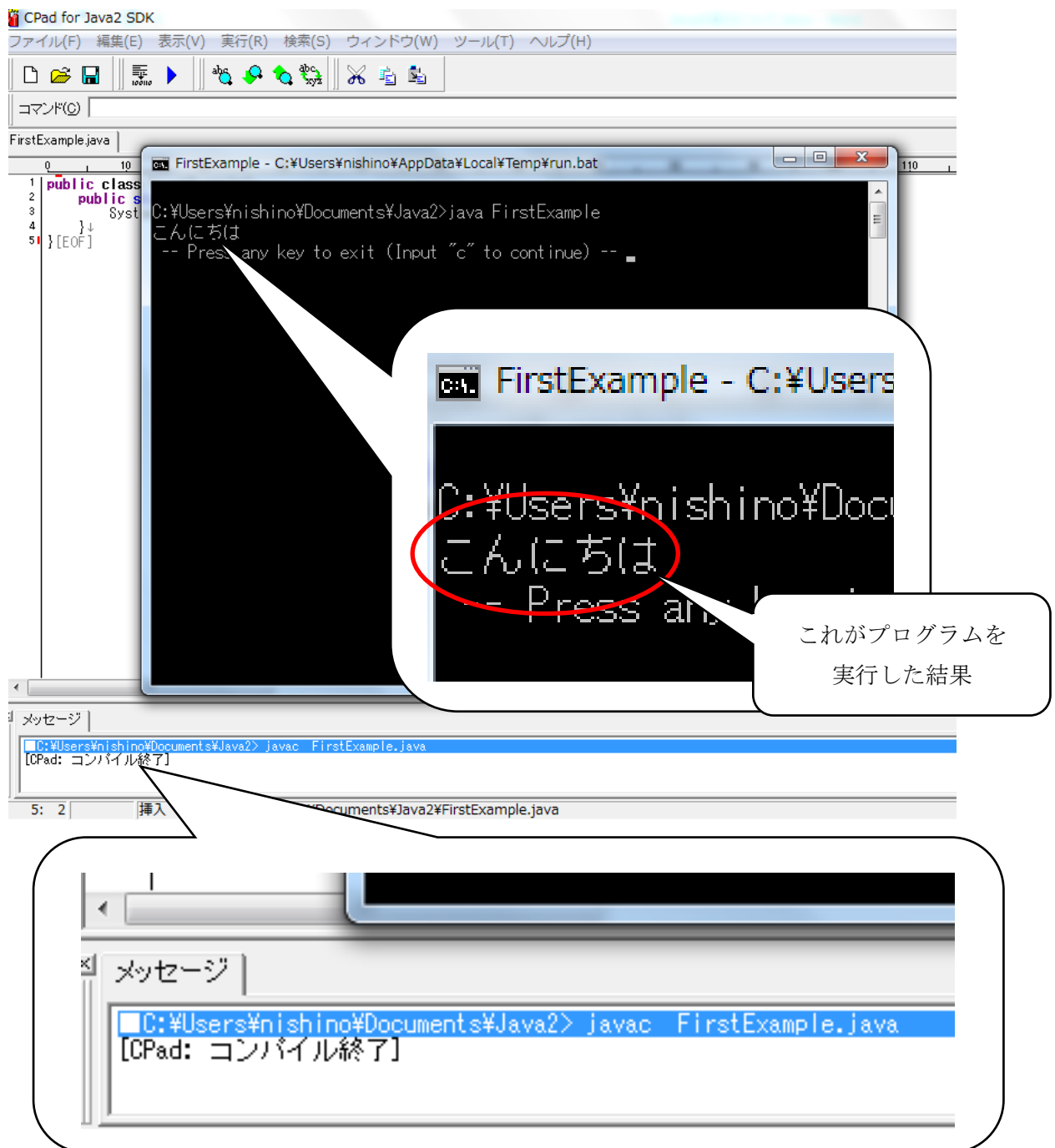
5-3. コンパイル&実行をしよう！

ファイルの保存まで終了したら、いよいよ実行です。

コンパイル&実行のアイコンをクリックします。



下のように黒い画面が表示され、「こんにちは」と表示されれば OK です
また、JCPad の下のほうに「CPad:コンパイル終了」と表示されていることも確認してください。



6. JcPad のショートカットを作っておこう

これから、JcPad は、ほぼ毎回使います。毎回、ファイルエクスプローラを起動して、JcPad を探すのは面倒ですね。

JcPad の「ショートカット」というものを作っておくと、次回からショートカットをクリックするだけで JcPad が起動できます（ファイルエクスプローラを起動して探さなくてすむ）。

ですので、JcPad の「ショートカット」をデスクトップ（ログインしたら最初に表示される画面）に作っておきましょう。

作り方は簡単です。

alt キーをクリックしたまま、JcPad.exe をデスクトップにドラッグアンドドロップすれば OK です。